

教材・教具名 「くす玉，吊り下げネット」

所属部署 小学部

- 1 対象となる幼児児童生徒
小学部児童（肢体不自由、知的、重度重複）
- 2 教材を使用する活動
遊び（はらぺこあおむし），日々の活動など
- 3 ねらい
 - ・（紐を）掴む，離す，引っ張るなど日常の基本動作を身につける。
 - ・自分の働きかけ（箱を開ける）で反応が起こる（中身が落ちてくる）ことに気付き，意欲的に活動しようとする。
 - ・ネットに載せられたものや吊り下げられたものを見たり，触ったりして楽しむ。

教材の使い方	配慮点
<p>○くす玉</p> <ul style="list-style-type: none">・箱の中に果物の模型などを入れる。・棒などに吊るし，紐を引っ張って箱を開ける。 	<ul style="list-style-type: none">○児童の実態に応じて，箱の高さ調整や紐の先端に輪っかを付けるなどして引っ張りやすいようにする。○箱の蓋をテープで留めるが，児童に応じてテープのつけ方（場所や数）を変える。○箱の中身を児童の興味関心があるものにする。○箱の中身が児童に当たらない場所で紐を引っ張る。
<p>○吊り下げネット</p> <ul style="list-style-type: none">・児童が興味関心のあるものなどを吊り下げたり，ネットにのせたりして，視覚，聴覚，触覚的な活動を行う（促す）。 	<ul style="list-style-type: none">○安全面に気を付ける（重たいものなど）○児童の実態に応じて，吊り下げる（載せる）場所や高さを調整する。○児童が日ごろから自由に使用することができるよう常設するが，必要に応じて教材を変えたり，ネットを取り外したりする。